

第一部 論考

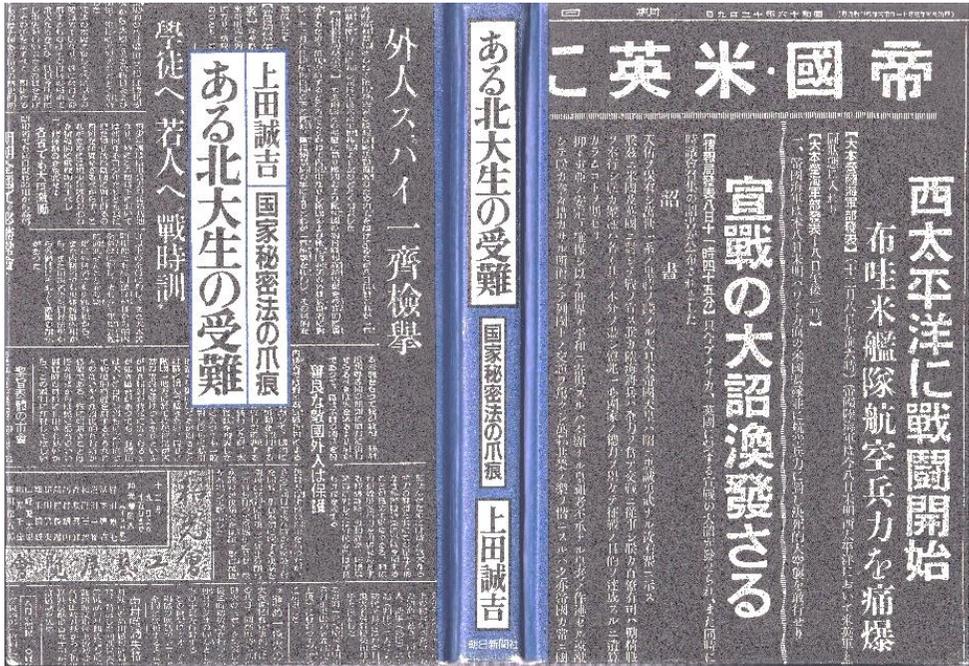
正確に伝えたい——誤用・誤解・半解事項の解消を 17

検証・12月8日の冤罪——宮澤弘幸はどこで検挙されたのか 31

再審への課題——宮澤弘幸の大審院判決から 43

最初の問題提起——初心忘れることなく 51

本会論考は、そのつど会報・冊子などに収録していますが、本編では、その中から4稿に絞って再録。いずれも運動の次なる展開に向け有用不可欠な課題であり、新たな事実・知見を加え再構成してあります。



上田誠吉著「ある北大生の受難」表紙本体



北大構内・クラーク像と宮澤弘幸